



新刊本の提供遅延のお詫び

年度末および年度初めの予算執行の都合から新刊本の提供が遅れ、大変、ご不便をおかけしました。5月より通常の入荷となります。お詫びして、皆様のご理解をいただきたいと存じます。

利用登録内容に変更はありませんか？

新年度を迎え、新しい生活をスタートした方もたくさんいると思います。住所や電話番号などに異動がありましたら、お知らせください。

本の宅配サービスがスタートしました

ご高齢者や障害をお持ちの方など図書館まで出向くのが難しい方へご自宅まで本をお届けする「本の宅配サービス」が4月よりスタートしました。詳しくはカウンターにお問い合わせください。

行事のお知らせ

- 『初級古文書講座』
5月12日(土)、26日(土)
- おはなし会(11時から)
『おはなしくまさん』(ぬいぐるみおはなし会)
5月12日(土)
『おおきなかぶのへや』
5月26日(土)
- 絵本づくり講座(第2回)
5月12日(土)
- 上映会
5月19日(土) 14:00~

5月の休館日

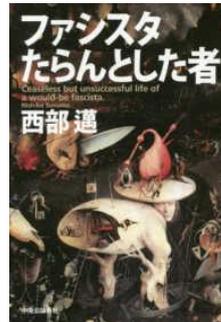
定期休館日
1日、8日、15日、22日、29日(火曜日)
月末館内整理日
5月25日(金曜日)

須賀敦子を読んでみませんか

1991年、『ミラノ 霧の風景』で女流文学賞、講談社エッセイ賞を受賞し、一躍、注目を集めながら、98年、急逝した須賀敦子。今、彼女がふたたび注目されています。図書館では今後、コレクションの充実を図っていく予定です。今月は詩集「主よ一羽の鳩のために」を購入しました。他に、「霧のむこうに住みたい」「本に読まれて」「塩トンの読書」などがありますので、ご利用ください。

新着本から

ファシスタたらんとした者 西部 邁



保守派の論客として長く、論壇を牽引してきた西部邁。今年の1月の自殺のニュースは各方面に大きな衝撃を与えました。彼の遺作「保守の神髄」(5月入荷予定)とあわせてお読みいただきたいと思います。

目に見えない世界を歩くー「全盲」のフィールドワーク 広瀬 浩二郎

中学1年の時、失明し、点字と音声パソコンを活用して研究生活を続ける著者の半生記。「視覚に頼らない人生の豊かさ、おもしろさをたくさんの方に伝えることができると願っている。今回の新書の表紙カバーには点字でタイトルと著者名を入れた。点字が読める・読めないに関係なく、本の触感を味わっていただきたい。本は目で読むもの、されど手や耳、鼻でも楽しめる。…」と、著者は語っています。